

直接
保有型

ヘリコプターを活用した オペレーティングリース

～個人でも取り組める新たな選択肢～

無 料
Web
セミナー

- ▶ 直接保有型のオペレーティングリースとは
- ▶ 個人と法人での税務効果の違い
- ▶ なぜヘリコプターなのか
- ▶ 知っておくべきリスクと考え方

ヘリコプターを活用した「直接保有型オペレーティングリース」は、個人・法人を問わず減価償却メリットを享受でき、キャッシュフロー改善や資産防衛策として注目を集めています。最大の特徴は、従来の航空機リース（匿名組合型）では参入が難しかった個人投資家でも取り組みやすい点です。また、対象となるヘリコプターは医療・防災といった社会インフラ需要が底堅く、出口戦略が描きやすいことも大きな魅力です。

本セミナーでは、具体的なスキームから、個人・法人それぞれの税務効果、市場動向、そしてリスクと対処法について、専門家が詳しく解説します。

※本セミナーは情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。

視聴可能期間

2026年 **2月5日(木)11:30～2月12日(木)17:00**

※講演時間は約30分となります。

お申し込み期限

2月4日(水) 17:00

参加費

無 料

講 師



株式会社ITCアエロリーシング
航空機リース営業部 投資家担当
マネージャー

小野 勇一（おの ゆういち）先生

2016年から現在に至るまで投資家対応に従事している。案件の提案・販売からリース中の案件管理、出口の機体売却まで一気通貫で携わる。マネージャーとして、案件の販売スケジュール管理とともに、200件に及ぶ投資家ポートフォリオのマネジメントを統括している。

詳細・お申し込み

https://form.k3r.jp/ht_tax/260205